

## 令和6年の新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

去年は、国内外において、異常気象による記録的な豪雨や猛暑等により、大規模災害や農作物の被害などが発生し、人々の生命・財産や生活に及ぼす影響の大きさに触れ、異常気象の原因とされる地球温暖化を引き起こす温室効果ガスの削減が急務であることを再認識させられた1年でした。

この温室効果ガスの削減に関して、本市では2050年カーボンニュートラルの実現を目指しており、家庭でのエコ家電や事業所での高効率な設備の導入等による省エネルギー化、太陽光発電設備の導入等による再生可能エネルギーの活用、製造業での非化石エネルギーへの転換の試みなど、様々な取組が行われている状況を頼もしく思う一方で、目標水準からみるとまだまだ道半ばであり、より一層の取組が必要な状況にあると感じています。

環境問題に取り組むベースとして、環境に対する人々の意識の醸成・改革は重要です。宇部市まちなか

環境学習館「銀天エコプラザ」は、その役割を担う拠点として、環境団体の保有する専門性や特長を生かした運営や活動により、小・中学校等に対する環境学習プログラム実施への支援や、ポータルサイト「うべっくる」・月刊誌「エコプラザ通信」による環境情報の発信、環境保全活動を担う人材の育成、「宇部方式」に基づく本市の取組等の海外への普及、環境団体間の連携強化等に御尽力をいただいています。関係者の皆様には、引き続き、持続可能なまち宇部の実現に向けて、御支援と御協力をお願いいたします。

終わりに、環境問題は地球規模の大きなテーマですが、人々の生活に関わる身近な問題といえます。一人の100歩より100人の1歩という言葉がありますが、多くの皆様の日々の環境配慮行動の積み重ねが環境問題の解決につながると考えていますので、皆様の更なる御理解と御協力をお願いいたします。

宇部市まちなか環境学習館 館長 神代克徳

### 特別サロン2 高度情報化社会をどう生きる

- 日時：2024年1月20日（土）14:00～16:00
- 場所：宇部市総合福祉会館2階交流大ホール  
宇部市寿町2丁目4-20

☆特別講演：

山口 真悟さん  
(山口大学情報・データ科学教育センター長)  
「高度情報化社会をどう生きる  
～情報リテラシーについて～」

☆高校生・高専生有志グループのSDGs成果発表

- 参加費 無料
- 申込：市民、学生どなたでも  
宇部市まちなか環境学習  
メール：ubekuru@gmail.com  
TEL：0836-39-8110 メ切 1/17

QRコード  
申込



氏名、電話、対面・オンラインの別を 連絡

### 2023年度第2回 ESD研修会

- 日時：2024年1月27日（土）14:00～16:00
- 場所：宇部市総合福祉会館3階講習室

テーマ『SDGs未来都市における人づくりの  
重要性(2)』

講演 「小・中学校における教育の環境」  
藤田美佐子さん（宇部市教育委員会教育支援課長）  
石崎輝彦さん（宇部市教育委員会教育支援課長同格）  
話題提供：藤田歩夢さん

「これまで受けてきた教育について」  
総合討論

QRコード  
申込



- 主催：ESDうべ推進協議会
- 後援：宇部市教育委員会（予定）
- 参加費：200円（資料代として）高校生以下無料
- 申込先：宇部市まちなか環境学習館  
氏名、連絡先、対面・オンラインの別を含め連絡下さい。  
(Onlineは要メールアドレス) メ切 1/24

### 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 J R宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 土・日、年末年始（12月29日～1月3日）



Home Page



facebook



x



NPO法人うべ環境コミュニティ

## ときわ動物園の環境教育、学習プログラムについて

(公財) 宇部市常盤動物園協会 事務局長 梶返 恭彦

平成28(2016)年にグランドオープンしたときわ動物園ですが、ご存知のようにとにかく、展示方法が特殊です。野生の生息地に入り込んだようで、自然植栽にあふれ、動物本来の行動を発揮させる展示です。特に、水モート(水堀)の島の自然木の中を飛び回っているシロテテナガザルの姿は圧巻です。水が苦手なサルということで、島の周囲を水堀で囲み、檻や柵が一切ありません。

このような展示を行っていることもあり、環境教育の場としても、様々な学習プログラムを介して、児童生徒の受け入れを積極的に進めており、今、「生物多様性」や「いのち」を学ぶ場として、ときわ動物園が大いに注目されています。

動物園の学習プログラムとしては、小学校の教材内容ともリンクする形で多様なメニューを用意しています。特に動物園の獣医さんのお話、飼育員のお仕事、動物の赤ちゃんについて知ろう、ウサギやモルモットとのふれあい、などの内容に人気があります。

学校の先生方からは、わかりやすい内容で理解しやすい、新しい発見があり勉強になった、講義のあとに動物の観察ができて良かつ

た、など好印象の感想をいただいています。

一般の方への飼育員による動物ガイドも毎日行っています。是非、生まれ変わったときわ動物園にお越しください。感動すること、間違いありません。

<https://www.tokiwapark.jp/study.html>

※ときわ公園の学習プログラムは、2015年より運用を開始し、毎年メニューを拡大しながら充実を図っています。動物園だけに限定したのではなく、植物館、彫刻、石炭記念館など、施設ごとに様々なプログラムを用意しています。



## 職員より新年のひとこと



理事長 加藤 泰生

明けまして、おめでとうございます。今年は、特別に期するものがあります。

さて、「1年の計は元旦にあり」今までの歴史を鑑み、以下の目標を立てました。

1. うべ環境コミュニティーの名称にふさわしい活動 ⇒環境関連団体の連携に努める
2. UKC活動、ESD活動をつかさどる会員の増強を図ること、とくに若いエネルギーを務めて求める
3. 学習館を中心に、まちなか活性化、地元企業と市民との交流の活性化を図る
4. イベント、学習会、談話会など情報交換につながる催しを実施、推進する  
⇒環境関連団体の中心団体(キー団体)としての責任と誇りを胸に!

一人では実現不可能です。皆様の多大なる協力をお願いいたします。

副理事長 浮田 正夫

昨秋よりスランプが続く、時代についていけない「老兵消え去るのみ」の心境ですが、自分なりの後始末にこの1年なんとか頑張る所存です。心ある方々のご支援に希望をつなぎたいと思います。

UKCに参加し自分のやりたいことを実現しよう  
うべ環境コミュニティ持続への提案

副理事長 津島 榮

NPO法人うべ環境コミュニティーも、他の組織と同様、持続が困難になりつつあります。最大の問題は、組織を管理運営するための人的資源が枯渇したことにあります。多くの市民から期待され、興味を持たれ、参加したいと思われる組織に変革する必要が有ると考えます。

具体的には、「NPO法人うべ環境コミュニティーに入会すれば自身がやりたいことが実現できる」その様に思われる組織に変革する必要があると考えます。そのためには企画者と実施者を分離することなく、企画し実行する形態に変革する必要が有ると考えます。

柏井真規子

公私ともにゆとりのある行動・早めの行動を心がけ、より良い方向に向かうよう努力します。

村上ひとみ

より良い未来への展望をもって歴史にも学び、よく歩き、視野を広げて防災と環境活動していきます。

今井 晶子

身の回りを整理してキビキビと動き、環境にも優しいシンプルな生活を送りたいです。